

多様な人材活用と将来を見据えた若手登用 創業70年の技術蓄積で独自の新技術開発

工業用ゴムパッキン製造。水栓機器・ガス機器・エアポンプなどの精密ゴムパッキン・Oリング等を得意とし、大手メーカーと長年の取引がある。ゴム材料の練りから成形・仕上・検査まで一貫して社内工場で生産し、量産品のみならず試作品でも小回りを利かせて顧客のニーズに対応している。また研究開発にも熱心に取り組んでおり、近年では水素ステーション向けの耐高圧水素ゴム材料を開発し、国内外のステーションで採用されている。

- 所在地 大阪府茨木市主原町3-18
- 電話/FAX 072-632-3365 / 072-635-1287
- URL <https://takaishi-ind.co.jp/>
- 代表者 代表取締役 高石秀之

- 設立 1948年
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 85人



担い手確保

若者・海外・女性を適材適所に登用

女性の比率が10年前と比べて大幅に増加(35%→55%)。役職に女性を登用(課長1名・班長2名)し、役職経験者・長期雇用者のシニア人財を65歳以降も積極的に受け入れている(現在3名)。

3年前より海外(ベトナム)からの実習生を受け入れ(現在4人)、将来ベトナム工場での活躍も見込んで多様な人財活用に取り組んでいる。また技術面では大阪大学との産学連携を行っており、若手技術者の育成と新規人財の獲得に効果を発揮している。現経営者は2011年に事業承継を行い、10年先を見据えて40代未満のより若い層の登用を積極的に行っている。



適材適所の人財登用(大阪本社工場の製造現場)

創業70年の技術の蓄積を元に、世界でも類を見ない新技術を開発

10年先を見据えて持続的に収益が向上していくために、日本では「痒いところに手が届く提案技術型営業」、欧米等の先進国では「最先端の技術を最先端の分野に売り込んで勝負する」、など明確な戦略を立てて実践している。さらにはアジアでは「日本の品質・アジアの価格」に対応できるようにベトナム工場の設立を含め、さらなる海外展開に取り組むべくベトナムからの実習生を受け入れ、将来ベトナム工場での活躍に向けて、技術の向上にも努めている。



世界でもユニークな水素ステーション用Oリング

「もの作りは人づくり」。人財こそが社の一番の財産・ノウハウ。

新入社員の教育訓練、各種研修制度の充実。各部署で目指す姿の明確化。特に職人仕事であるロール工程の従事者に積極的な技術移転を行っている。また他工程でもジョブローテーションを実践し、人財のレベルアップと一人二役化を図っている。

年二回「社会人としての成長」と「技能の習得・熟練」の二本柱で評価し、給与・賞与査定に結び付けている。また更なる成長を促すために個々に目標設定をし、毎月上司と部下で面談を行って、コミュニケーションを通じて人財の成長を図っている。



毎年行われる有志合宿での一コマ/人財育成の一コマ

ものづくり